

横浜市立横浜総合高校就職ガイダンスで自衛隊をPR

自衛隊の仕事について話す
所長日比野准陸尉（右）

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 日比野准陸尉）は、9月22日（金）、横浜市立横浜総合高校（横浜市南区）で開催された就職ガイダンス「第4回横浜未来博」にて募集広報を行なった。

神奈川県内の企業や大学、専門学校などがブースを設け、訪れた生徒たちに職業説明などを行ない、会場は文化祭のように賑わった。

自衛隊ブースでは、広報官による仕事内容や入隊方法などについての説明の他、制服試着も行った。興味を持った生徒は「話をきいて、自衛隊のイメージが変わりました。進路の1つに加ええます」「様々な仕事があることを知りました」などと話した。

横浜中央募集案内所は「今後も高校での募集広報を通じて、自衛隊に対する関心の喚起と募集成果の拡充に努めていきたい」としている。

海自横須賀教育隊自衛官候補生入隊式に家族と共に参列



入隊式を終え、家族に笑顔を見せる志田自候生

神奈川地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤一空尉）は、10月3日（火）、海上自衛隊横須賀教育隊で挙行された第14期自衛官候補生入隊式に入隊者家族と共に参列した。

市ヶ尾募集案内所を通じて入隊した志田 亨介（しだ きょうすけ）自候生は、真新しい制服に身を包み、同期らと共に行進して現われ、号令に従い覚えたばかりの敬礼を披露し、隊歌「海をゆく」を力強く歌いあげた。

志田自候生は、自衛隊のパイロットを目指す友人と共に市ヶ尾募集案内所を訪れ、広報官から自衛隊の仕事について様々な話を聞くうちに海上自衛隊に興味を持ち、友人より一足先に入隊することになった。

参列した家族は「家を出た時とは顔つきが変わって、見違えるようです。自衛官になる一歩が今日始まったのですね」と感慨深げに話した。

市ヶ尾募集案内所は「今後も入隊者家族と後輩自衛官となる彼らと連携し、サポートするとともに、少しでも自衛隊に興味を持つ若者を入隊へと導いていきたい」としている。

神奈川地本広報センターイベント「自衛隊体育学校レスリング班見学ツアー」を実施

自衛隊体育学校展示室にて
選手たちの功績に見入る参加者たち

案内するレスリング班コーチ本田原一陸曹

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 山野 太資一海佐）は、9月30日（土）、自衛隊体育学校の協力を得て広報センターイベント「自衛隊体育学校レスリング班見学ツアー」を実施した。

本イベントは、同地本広報センターの知名度の向上及び自衛隊に対する親近感の醸成を目的に主催したもので、インターネット等の公募で選ばれた高校生や社会人17名が参加した。

参加者は、地本本部の広報センターを見学した後、自衛隊体育学校に移動した。

学校では、最初に概要説明を受けた後、展示室を見学し、室内にずらりと並ぶトロフィーやメダルに参加者たちは見入っていた。その後、レスリング班コーチの本田原一陸曹から説明を受けながら、レスリング班の練習試合を見た参加者は「鍛え抜かれた身体に驚きました」「こんな近くから見られるとは思っていませんでした」「トップアスリートの熱気を肌で感じることでできました」と話し、その迫力に驚いている様子だった。

神奈川地本は「今後も、自衛隊に対する理解と信頼を深められるよう、自衛隊をPRするイベントを積極的に企画していく」としている。